

# 美幌博物館研究報告(BULLETIN OF THE BIHORO MUSEUM)執筆要項

## 1. 概要

美幌博物館研究報告は、美幌町とその周辺地域や、館収蔵標本をに関する未発表の報告を掲載する。対象は、生物学や考古学、美術史などに関するもので、著者の所属は問わず広く受け入れる。発行は年1回で、投稿締め切りは11月末日とし、原則校了順の掲載とする。刷り上がりは、B5サイズ、1行45文字、1ページ36行。配布は博物館関係施設や希望者に行い、タイトルと要約のみweb公開する。全文のweb公開は、生物種の乱獲や環境かく乱を防ぐため行わない。

## 2. 原稿の種類

①原著論文：新たに得た知見をまとめ考察した論文

表紙ページ、Summary、要約、本文、謝辞、引用文献、図表の説明、図表

※刷り上がり10ページ程度。

②短報：新たに得た知見をまとめ考察した論文

表紙ページ、Summary、要約、本文、謝辞、引用文献、図表の説明、図表

※刷り上がり4ページ以内

③特集：美幌博物館がテーマを決め、執筆を依頼した複数の論文

表紙ページ、Summary、要約、本文、謝辞、引用文献、図表の説明、図表

④総説：これまでの総括と今後の展望をまとめた論文

⑤意見：美幌博物館とそれに関わる分野に関する有益な情報やトピック

※④⑤については、自由に区分けすることができるが、刷り上がりは10ページ以内

## 3. 表紙ページの書き方

原稿の種類、表題、著者名・所属、

責任著者の氏名・郵便番号・住所、E-mailを記入する。

全て日本語と英語を併記する。

## 4. Summaryと要約の書き方

Summaryは英語300語以内で、要約は日本語400字以内で1パラグラフとする。

英語はイギリス英語とし、2020年8月20日の場合は、20 August 2020と表記する。

## 5. 本文の書き方

A4版の用紙に横書きとし、上下左右の余白は2.5 cm以上とする。原則として、文字は12ポイント、行間はダブルスペースとし、1行25文字、1ページ25行を目安とする（原

稿約 2 ページが刷り上がり 1 ページ（図表を除いた場合）に相当する）。

本文の構成は、「Ⅰ. はじめに」「Ⅱ. 調査地と調査方法」「Ⅲ. 結果」「Ⅳ. 考察」「Ⅴ. おわりに」「Ⅵ. 引用文献」にする。ただし、短報は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの頭出しを行わない。本文には、通しページ番号を下段中央に付し、行番号をつける。

英数字は半角に、句読点は「、」「。」を使用し、文末は、「...である。」「...した。」とする。数字は算用数字、年号は西暦を用いる。単位は mm、kg など以示し、数字と単位の間には半角スペースを入れる。数字、カンマ、ピリオッド、セミコロン、カッコなどの記号は、半角を使用し、記号の後は半角スペースを入れる。

生物名は和名（カタカナ）を用い、初出の箇所には学名（イタリック）をつける。命名者、命名年については任意。

引用文献の本文中の記述については、下記の例に従う。

●著者が 1 名の場合

『宇野（2012・2013）は、...』

『...が示されている（宇野, 2012a, b; 宇野, 2015, 2016）。』

●著者が 2 人の場合

『鈴木・田中(1982)は、...』

『...が示されている(Suzuki & Tanaka, 1980 ; 鈴木・田中, 1982)。』

●著者が 3 名以上の場合

『鈴木ほか(1987)は、...』

『Suzuki et al. (1985)は、...』

『...が示されている(Suzuki et al., 1985)。』 ※et al. はイタリックにしない。

## 6. 引用文献の書き方

引用文献リストは、英文・邦文に関わらず、著者名（第一著者、それ以外に関わらず）のアルファベット順、著者名が同じ場合は発行年順に並べる。英文で著者が複数の場合、ファミリーネームをフルネームで記載し、ミドルネーム、ファーストネームは省略アルファベットとする。雑誌名はできるだけ省略しない。また、ニューズレターや会報など学術的に不適切と考えられる引用は避け、やむを得ない場合は最小限にとどめる。

●論文を引用する場合【著者名（発行年）表題. 雑誌名, 巻: 初項-終項】

Higuti M, Goto A (1996) Genetic evidence supporting the existence of two distinct species in the genus *Gasterosteus aculeatus* around Japan. Environmental

Biology Fishes, 47: 1-16

佐々木恵一, 長尾 康, 鈴木敏春 (1993) 北海道のカミキリ科の分布について.

Jezoensis, 20: 49-163

Machida Y, Akiyama YB (2013) Impacts of invasive crayfish (*Pacifastacus leniusculus*) on endangered freshwater pearl mussels (*Margaritifera laevis* and *M.togakushiensis*) in Japan. *Hydrobiologia*, 720: 145-151

●本の全ページを引用する場合【著者名 (発行年) 表題. 出版社, 出版社の都道府県】

木元新作, 保田信紀 (1995) 北海道の地表性歩行虫類. 東海大学出版会, 東京

Williamson M (1981) *Island Population*. Oxford University Press, Oxford

●本の一部ページを引用する場合

【著者名 (発行年) 表題. (本の著者名) 本の表題, 初項-終項. 出版社, 出版社の都道府県】

梶 光一 (1998) エゾシカ. (中川 元・大泰司紀之編) 知床の動物, 155-180. 北海道大学図書刊行会, 北海道

Geist V (1982) Adaptive behavioral strategies. (Thomas JW, Toweill DE eds.) In *Elk of North America*, 219-277. Stackpole, Harrisburg

●web ページを引用・参考とする場合

【web ページの管理者 (発行年) 表題. URL (閲覧年月日)】

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室 (2005) 外来生物法 要注意外来生物リスト: 無脊椎動物(詳細)タイワンシジミ種群に関する情報.  
[http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/caution/detail\\_mu.html#10](http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/caution/detail_mu.html#10) (2010年12月18日閲覧)

●新聞の引用【新聞の名前 刊面 (年月日) 記事名】

引用文の後にカッコ書きで記載。

...(経済の伝書鳩 2面 (20080912) 網走湖で外来魚種捕獲)。

## 7. 図表

図表は別紙に作成する。B5 1 ページを超える図表は分割する。図表には「表 1」「図 1」のように通し番号加える。和英併記のキャプションをつける。

## 8. 著作権

研究報告の著作権は、原稿が受理された時点で美幌博物館に帰属し、許可なく複製や公

開等することを禁止する。図表の転載については、美幌博物館の許可を得て行い、本誌からの引用・転載であることを明記する。

## 9. 製本と別刷

著者には、掲載年度の研究報告を無料で配布する。別刷を希望する場合は、著者の実費負担とする。

## 10. 査読

外部機関への査読依頼は行わないが、論文内容や原稿に不備があると編集担当の美幌博物館学芸員が判断した場合は、投稿者に改訂を求める。また、編集担当が文章の校閲を行い、表現などについて相談する場合がある。重大な事実誤認、個人や団体の中傷、商業目的、法令違反など、掲載が不適当な場合は、理由を明記して投稿者に返却する。

## 11. 編集

編集は美幌博物館学芸員が行い、図や表のスタイル統一を行う。著者による校正は原則として初校のみとする。また、著者は初校を受領した後、指定日までに校正を行い返送する。

## 12. 電子的補助資料について

電子的補助資料（Electronic Supplementary Material: ESM）は、「美幌博物館ホームページ」を通じて公開する。データの作成から掲載までの過程ならびに注意事項は下記を参照し、不明な点は確認すること。

### ●掲載データ

動画データ、音声データ、超高解像度画像、多数の画像、巨大な表データ等を掲載対象とする上記以外のデータ類については原稿の執筆前に掲載の可否を編集委員長に確認すること。

### ●ファイル形式

一般的なファイル形式とする。ただし、内容を担保するデータとなるため、第三者による閲覧・利用が容易となるファイル形式にすること。

### ●データサイズ

ファイル1点あたりの最大サイズは50Mbとする。ただし、動画データなどは可能なかぎりサイズを圧縮すること。

### ●原稿中の記載方法

原稿中における ESM データの表現は「ESM」と記載し、各 ESM データについても本

文の終わりに英文による説明を付ける。本文中の配置規則は「図」、「表」および「ESM」の順とすること。（例）：（図 1；表 1；ESM 1）。

- 公開

ESM データは、公表日に即オープンアクセス化される。

- 著作権

著作権を全て美幌博物館に移譲する。

### 13. 原稿の送付・問い合わせ先

美幌博物館 学芸担当宛

〒092-0002 北海道網走郡美幌町字 253-4

TEL: 0152-72-2160/FAX: 0152-72-2162

E-mail: [museum@town.bihoro.hokkaido.jp](mailto:museum@town.bihoro.hokkaido.jp)

※原稿の送付は郵送または E-mail とする。2 週間以上経っても返信がない場合は問い合わせること。

(2009.1.11 作成, 2013.5.16 修正, 2014.2.18 修正, 2016.9.2 修正, 2018.8.29 改訂, 2019.1.17 改訂, 2022.12.20 修正, 2023.4.15 修正, 2023.12.15 修正, 2024.1.30 修正, 2026.3.11 改訂)